

▼プロニカ錠 [内] <2025.3 販売中止>

【重要度】 【一般製剤名】セラトロダスト seratrodast 【分類】気管支喘息治療剤 [TXA2 受容体拮抗剤]

【単位】▼40mg・▼80mg/錠

【常用量】80mg/日 [高齢者では半減期の延長, AUC の増大が認められるため 40mg/日から開始]

【用法】1日1回夕食後

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】気管支喘息治療に適用されるトロンボキサン A2 受容体拮抗剤。即時型及び遅発型喘息反応並びに気道過敏性の亢進を抑制する。定期的 (1 か月に 1 回) に肝機能検査を行う。

【主な副作用・毒性】肝機能障害, 黄疸, 劇症肝炎, 発疹, 消化器症状, 貧血, 血小板減少, 眠気, めまい, 動悸, 倦怠感など

【吸収】初回通過効果をほとんど受けない [サル] (1)

【F】89% [サル] (1)

【tmax】3hr (1)

【代謝】肝代謝を受ける (1) β酸化, 水酸化, グルクロン酸抱合, 硫酸抱合により代謝されると推定 (1) 一部の代謝には CYP2C8, 2C9, 3A4 が関与 (1)

【排泄】主に胆汁排泄され, 尿中回収率 16% (未変化体, 代謝物の抱合体として) [po, 72hr まで] (1) 【CL/F】0.9L/hr (1) 8.5mL/hr/kg (Samara E, et al: Clin Pharmacol Ther 62: 426-435, 1997)

【t1/2】25hr (1) 高齢者では 40hr に延長 (1)

【蛋白結合率】99% (1)

【Vd/F】24L/man (1) 43.3mL/kg ml/kg (Samara E, et al: Clin Pharmacol Ther 62: 426-435, 1997)

【MW】354.44

【透析性】資料なし (1) 蛋白結合率が高いため透析性は低いと思われる (5)

【O/W 係数】>1000 [1-オクタノール/水系, pH6.0] (1) アルカリ性ではやや小さくなる (1) 【pKa】4.6 【薬物動態】線形動態 (Samara E, et al: Clin Pharmacol Ther 62: 426-435, 1997)

【更新日】20240625

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。